SteelCentral Controller for SteelHead バックアップ & リストア ガイド

Ver.1.1

2023/9/8

丸紅情報システムズ 技術本部 セキュリティサービス技術部

目次

バックアップ手順	3
設定ファイル(configs)のバックアップ	3
SCC 配下機器(sh_backup)のバックアップ	6
統計情報(stats)のバックアップ	7
リストア手順	8
設定ファイル(configs)のリストア	8
SCC 配下機器(sh_backup)のリストア	12
統計情報(stats)のリストア	15
時刻同期	16
Backup Server の設定	16
機器の正常性確認	18
ソフトウェアのバージョンアップ	20
ハードウェア・ソフトウェア サポート終了ポリシー	25
	設定ファイル(configs)のバックアップ SCC 配下機器(sh_backup)のバックアップ 統計情報(stats)のバックアップ リストア手順 設定ファイル(configs)のリストア SCC 配下機器(sh_backup)のリストア 統計情報(stats)のリストア ・統計情報(stats)のリストア ・機器の正常性確認 ソフトウェアのバージョンアップ

はじめに

本書はSteelCentral Controller for SteelHead (以下、SCC) の保守サービスをご提供するにあたり、機器の復旧に必要な 作業をまとめた資料となります。

現状復旧を目的としました機器交換の保守サービスでは、機器の情報として以下の情報が事前に必要となります。万が一交換時に ご準備いただいていない場合、現状復旧作業を進めることはできません。機器交換作業前に、予め情報をご準備いただけますようお 願い申し上げます。

【保守サービス - 機器交換時の事前準備リスト・注意事項】

	復旧対象機器の『ソフトウェアバージョン情報》
	復旧対象機器に適応されているソフトウェアバージョンの『設定ファイル(設定ファイルは SSH サーバから取
:	得していること)』※例えば、ソフトウェアバージョン Ver. 9.6 を利用中の場合、Ver. 9.6 の設定ファイル
	復旧対象機器の 『ログイン ID / パスワード』
	Riverbed アプライアンスの管理画面にログインできる 『端末』 『ネットワーク環境』
【注意	-1】Secure Vault を有効にしている場合
	Secure Vault のパスワード
【注意	-2】Backup Server を利用していた場合
	お客様にて再設定をお願いします。

1 バックアップ手順

復旧の際には設定ファイルが必要となります。下記手順に従い、バックアップを行ってください。

1.1 設定ファイル(configs)のバックアップ

SSH サーバを利用し、configs ファイルをバックアップします。

※Windows クライアント OS 対応のフリーソフトの SSH サーバでも構いません。

SCC にアクセスするため、作業用端末に Teraterm 等のアプリケーションがインストールされていることが前提です。

① SCC に接続する端末上に SSH サーバを立てます。 または、 SCC の Primary ポートからアクセスできる SSH サーバを準備します。

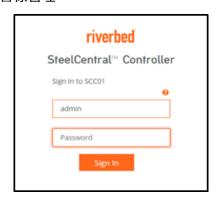
例 SSH ユーザ: admin

SSH ユーザパスワード: password

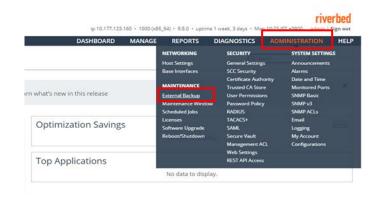
バックアップファイル作成先: C:\Users\Admin\SCC\backup

② SCC の管理画面にログインします。

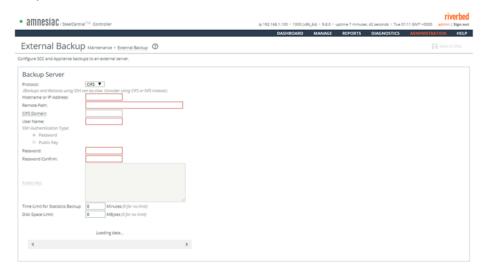
アクセス先 HTTP or <u>HTTPS://SCC</u>の IP アドレス ユーザ名: お客様管理 パスワード: お客様管理



③ ADMINISTRATION> MAINTENANCE> External Backup をクリックします。



④ 下記を参考に Backup Server を設定します。



【設定例】

Protocols: SSH

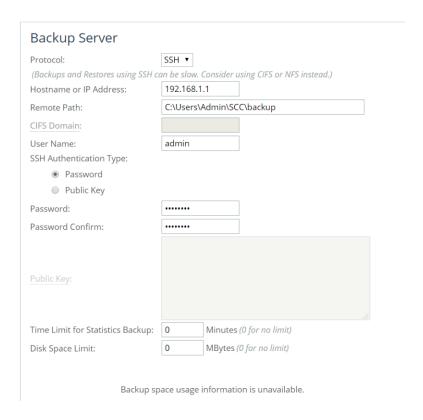
Hostname or IP Address: (SSH サーバの IP アドレス)

Remote Path: 環境に合わせて設定して下さい。 例 C: ¥Users ¥Admin ¥SCC ¥backup

User Name:環境に合わせて設定して下さい。 例 admin等

SSH Authentication Type: (Password を選択)

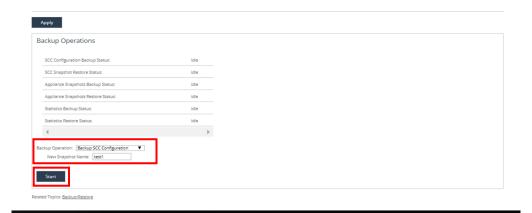
Password:環境に合わせて設定して下さい。



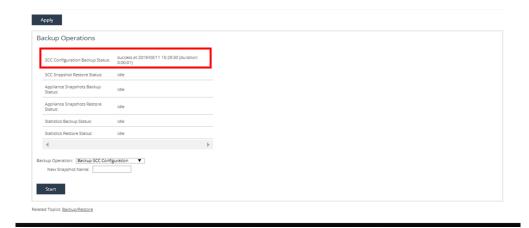
⑤ Apply ボタンを押下し、設定を適用します。



Backup Operation のドロップダウンリストから Backup SCC Configuration を選択し、バックアップファイル名を入力し、 Start ボタンを押下します。



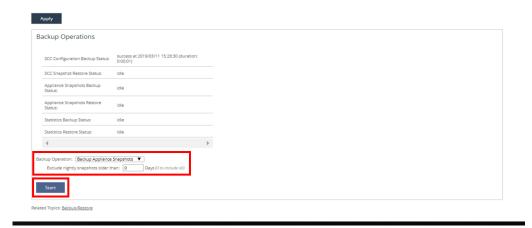
⑦ Configs フォルダが保存されていることを確認します。



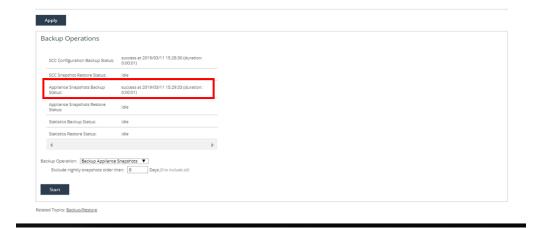
1.2 SCC 配下機器 (sh_backup) のバックアップ

SSH サーバを利用し、sh_backup ファイルをバックアップします。

- ① 1.1 の手順を参考にバックアップ用 SSH サーバを設定します。
- ② Backup Operation のドロップダウンリストから Backup Appliance Snapshots を選択し、Start ボタンを押下します。



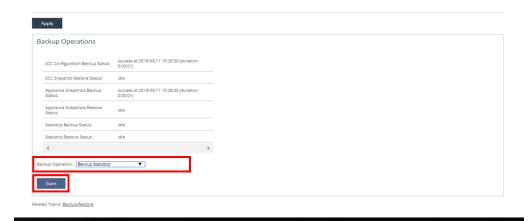
③ sh_backup フォルダが保存されていることを確認します。



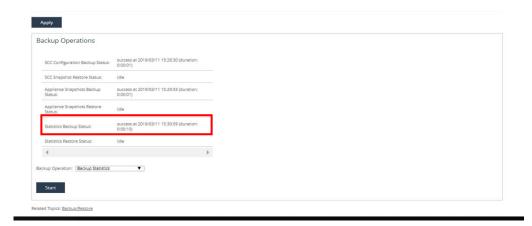
1.3 統計情報(stats)のバックアップ

SSH サーバを利用し、stats ファイルをバックアップします。

- ① 1.1 の手順を参考にバックアップ用 SSH サーバを設定します。
- ② Backup Operation のドロップダウンリストから Backup Statistics を選択し、Start ボタンを押下します。



③ stats ファイルのバックアップが成功していることを確認します。



2 リストア手順

リストアを実施する際は、下記手順に従い実施してください。

2.1 <u>設定ファイル(configs)のリストア</u>

① 作業端末にて SSH サーバを起動します。

例 SSH ユーザ: admin

SSH ユーザパスワード: password

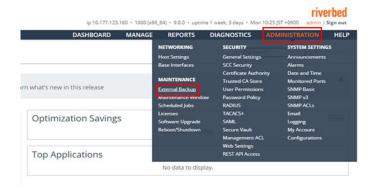
② 用意したリストア用ファイル (configs、sh_backup、stats) を任意のフォルダに配置します。

例 C:\SCC\backup\configs

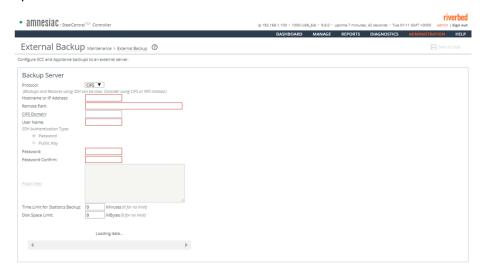
C:\SCC\backup\sh_backup

C:\SCC\backup\stats

③ ADMINISTRATION> MAINTENANCE> External Backup をクリックします。



④ 下記を参考に Backup Server を設定します。



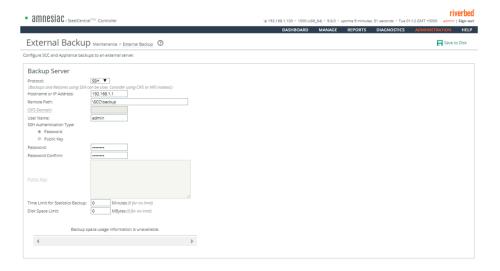
Protocols: SSH

Hostname or IP Address: SSH サーバの IP アドレス or ホスト名 例 192.168.1.1

Remote Path: バックアップファイルの保存先をフルパスで入力。 例 C:\Users\Admin\SCC\backup

User Name: SSH サーバを実行しているアカウント名 SSH Authentication Type: Password を選択

Password: SSH サーバを実行しているアカウントのパスワード



⑤ Apply ボタンを押下し、設定を適用します。



⑥ Backup Operation のドロップダウンリストから Restore SCC Snapshot を選択します。



⑦ 下記を参考に値を入力します。



Restore Snapshot Name: 用意したリストア用ファイル (configs) を選択

※複数表示される場合は、Zip ファイルの更新日付が最新のものを利用

Restore Secure Vault: チェック有り

Vault Password: Secure Vault パスワードを入力(未設定の場合は空欄)

Restore Primary and Aux network interfaces: チェック有り



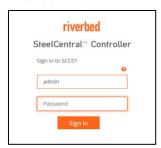
⑧ Start ボタンを押下します。



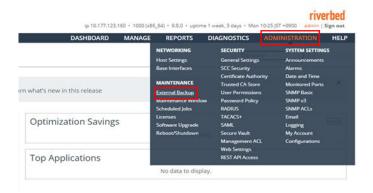
- ⑨ 端末の IP アドレスをリストア後の SCC の IP アドレスと同じセグメントにし、Primary ポートに接続します。
- ⑩ ブラウザから管理画面を開き、ログインしてください。

アクセス先 HTTP or HTTPS:// リストア後の IP アドレス

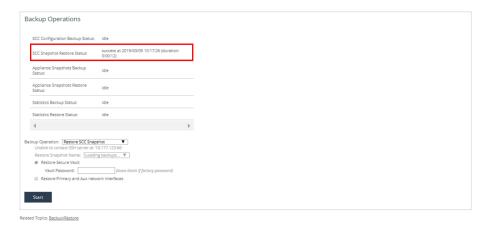
ユーザ名: お客様管理 パスワード: お客様管理



① ADMINISTRATION> MAINTENANCE> External Backup をクリックします。

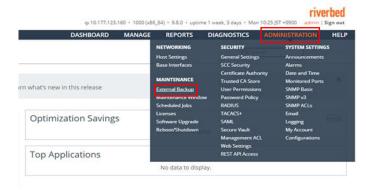


② Config のリストアが成功していることを確認します。

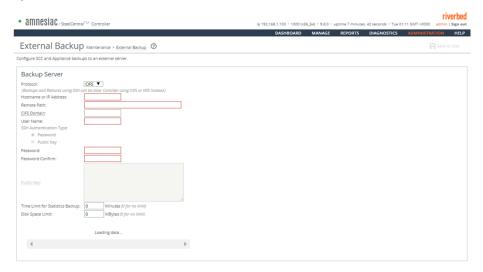


2.2 SCC 配下機器 (sh_backup) のリストア

① ADMINISTRATION> MAINTENANCE> External Backup をクリックします。



② 下記を参考に Backup Server を設定します。



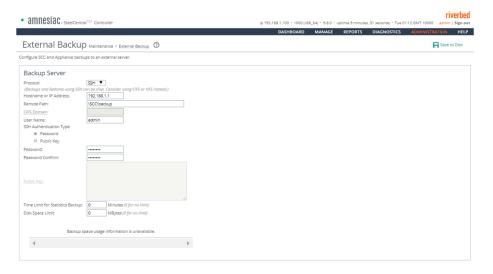
Protocols: SSH

Hostname or IP Address: SSH サーバの IP アドレス or ホスト名 例 192.168.1.1

Remote Path: バックアップファイルの保存先をフルパスで入力。 例 C:¥Users¥Admin¥SCC¥backup

User Name: SSH サーバを実行しているアカウント名 SSH Authentication Type: Password を選択

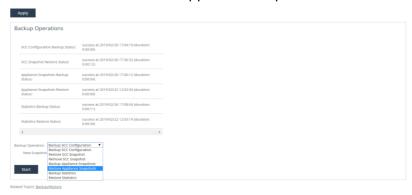
Password: SSH サーバを実行しているアカウントのパスワード



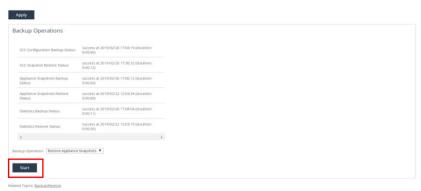
③ Apply ボタンを押下し、設定を適用します。



④ Backup Operation のドロップダウンリストから Restore Appliance Snapshots を選択します。



⑤ Start ボタンを押下します。



⑥ Appliance のリストアが成功していることを確認します。



2.3 統計情報 (stats) のリストア

① Teraterm を起動し SCC に SSH 接続します。IP アドレス リストア後の IP アドレスユーザ名 お客様管理パスワード お客様管理

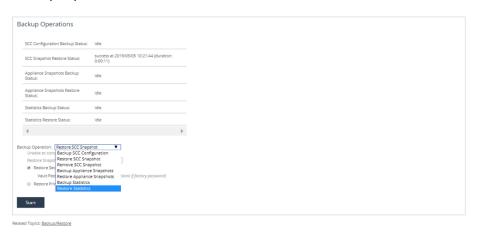
② 下記のコマンドを実行し、統計情報を削除します。

SCC > en

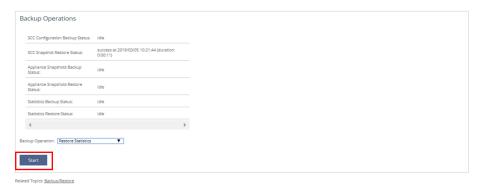
SCC # conf t

SCC (config) # stats clear-all

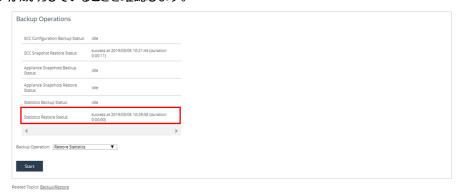
③ 管理画面に戻り、Backup Operation のドロップダウンリストから Restore Statistics を選択します。



④ Start ボタンを押下します。



⑤ 統計情報のリストアが成功していることを確認します。



2.4 時刻同期

- ① Teraterm を起動し SteelHead に SSH 接続します。IP アドレス リストア後の IP アドレス ユーザ名 お客様管理 パスワード お客様管理
- ② 下記のコマンドを実行し、現在の時刻に合わせます。

SH > en

SH # conf t

SH (config) # clock set 'yyyy/mm/dd/ HH:MM:SS'

例 clock set '2019/01/30 19:00:00'

※NTP Server を利用している場合は、以下のエラーログが出力されるので、

% NTP enabled, clock adjustment not allowed

以下のコマンドを実行します。

SH (config) # ntp disable

SH (config) # clock set 'yyyy/mm/dd/ HH:MM:SS'

SH (config) # ntp enable

2.5 Backup Server の設定

必要に応じて、以下の設定を行います。Backup Serverを利用していない場合は、本手順は未実施で構いません。

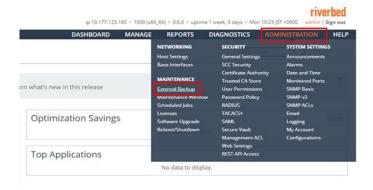
① ブラウザから管理画面を開き、ログインします。

アクセス先 HTTP or HTTPS://リストア後の IP アドレス

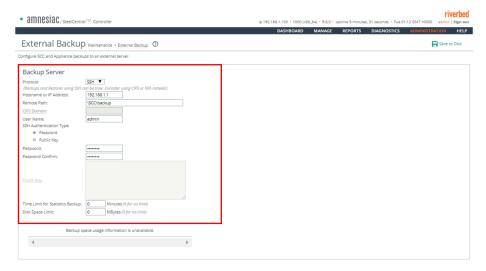
ユーザ名: お客様管理 パスワード: お客様管理



② ADMINISTRATION> MAINTENANCE> External Backup をクリックします。



③ Backup Serverを設定します。



Protocols: SSH

Hostname or IP Address: SSH サーバの IP アドレス or ホスト名 例 192.168.1.1

Remote Path: バックアップファイルの保存先をフルパスで入力。 例 C:¥Users¥Admin¥SCC¥backup

User Name: SSH サーバを実行しているアカウント名 SSH Authentication Type: Password を選択

Password: SSH サーバを実行しているアカウントのパスワード

④ Apply ボタンを押下し、設定を適用します。

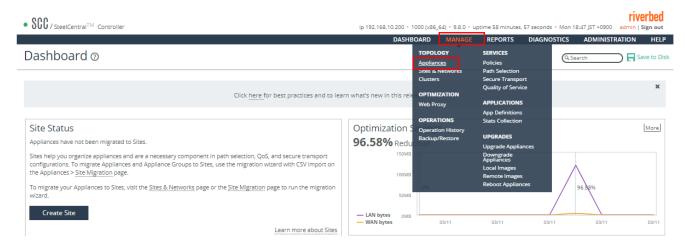


⑤ Save to Disk ボタンを押下します。

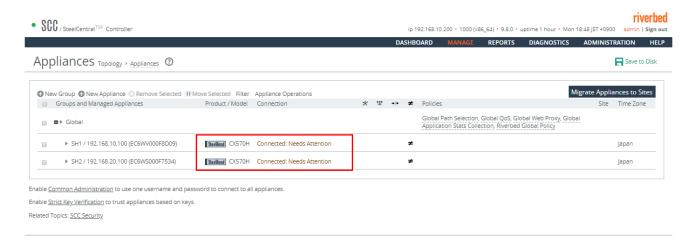


2.6 機器の正常性確認

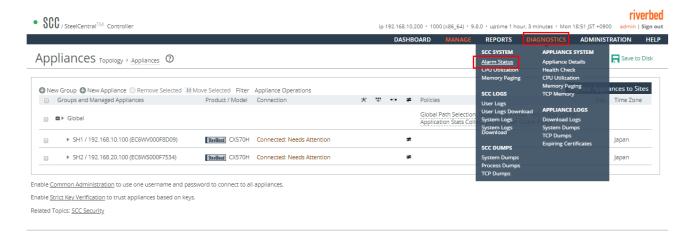
① MANAGE> TOPOLOGY> Appliance をクリックします。



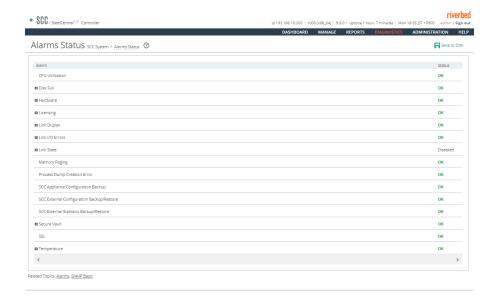
② 配下機器とのステータスが「Connected」であることを確認します。



③ DIAGNOSTICS>SCC SYSTEM> Alarm Status をクリックします。



④ 「Status」に異常(エラー等)がないことを確認します。



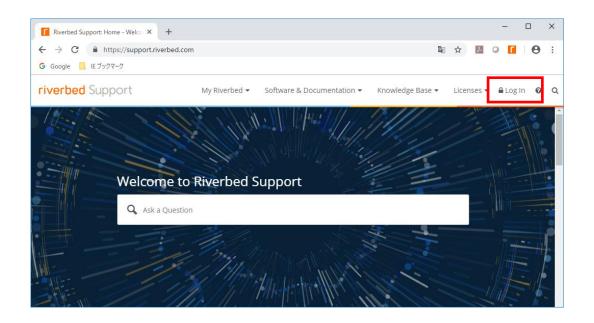
3 ソフトウェアのバージョンアップ

※ソフトウェアバージョンアップを実施する前に必ず以下を準備ください。

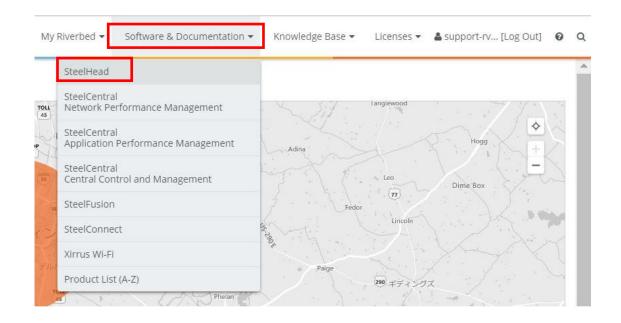
- ① [configs][sh_backup][stats]のバックアップを取得してください。
- ② ソフトウェア バージョンアップのステップを確認(お使いいただいておりますバージョンによっては、目的のバージョンになるまでに数回のバージョンアップを実施する必要がございます。以下サイトにて確認いただけますので、バージョンアップする際、必ずご確認ください。)

https://support.riverbed.com/content/support/software/steelcentral-ccm/steelhead-controller.html

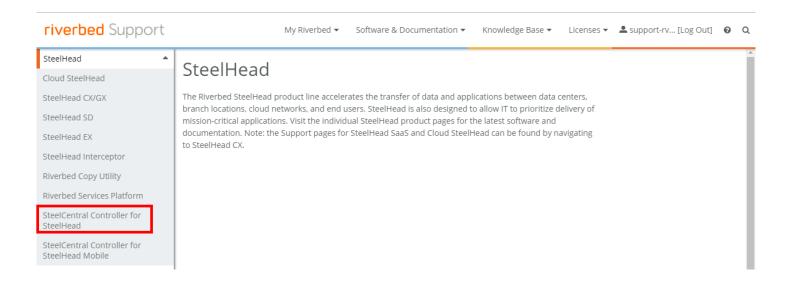
① サポートサイト(https://support.riverbed.com/)にアクセスし、「Log In」をクリックします。



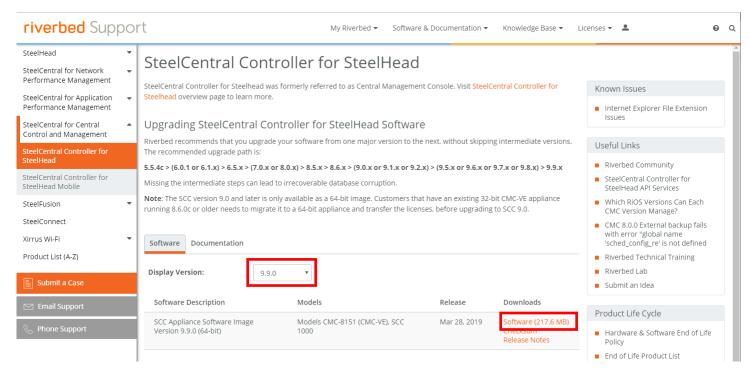
② Software & Documentation → SteelHead をクリックします。



③ 以下の SteelCentral Controller for SteelHead をクリックします。



④ Display Version よりダウンロードしたいバージョンを指定し、Software をクリックし、任意の場所に保存します。



例 ファイル名 image_rbt_cmc_9_9_0_n2_x86_64.img など

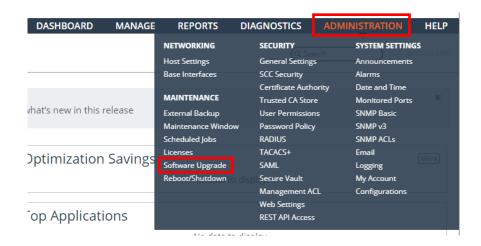
⑤ ブラウザから管理画面を開き、ログインします。

アクセス先 HTTP or HTTPS://リストア後の IP アドレス

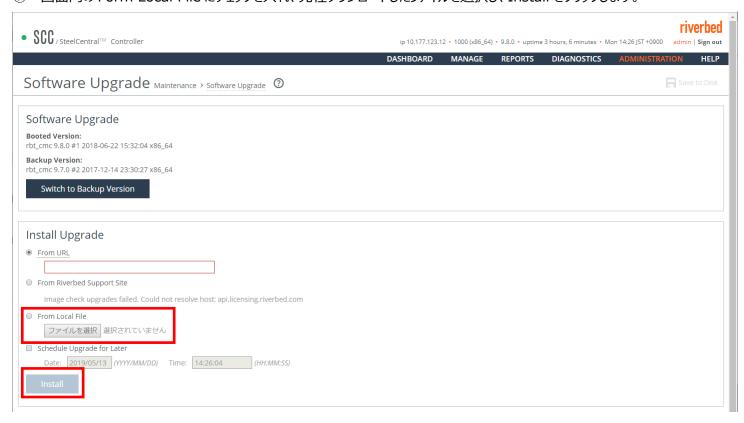
ユーザ名: お客様管理 パスワード: お客様管理



⑥ ADMINISTRATOIN → Software Upgrade をクリックします。



② 画面内の Form Local File にチェックを入れ、先程ダウンロードしたファイルを選択し、Install をクリックします。



⑧ 画面上部の「reboot the appliance」をクリックします。



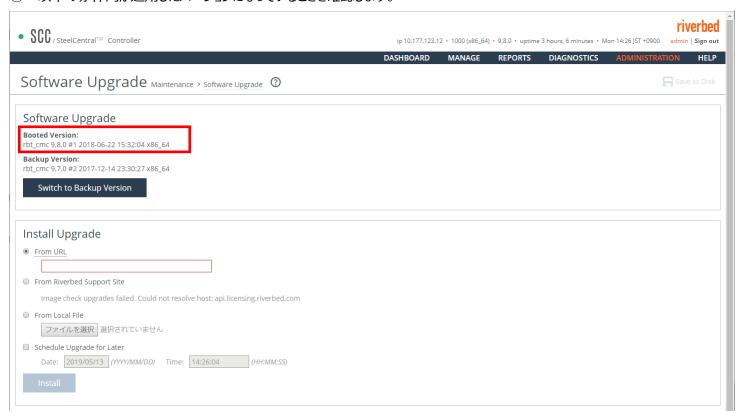
⑨ 「Reboot |をクリックします。



⑩ 再起動完了後、管理画面にログインし、ADMINISTRATOIN → Software Upgrade をクリックします。



⑪ 以下の赤枠内が適用したバージョンになっていることを確認します。



4 ハードウェア・ソフトウェア サポート終了ポリシー

- ① Riverbed 社製品のハードウェアおよびソフトウェアのサポートポリシーは、以下 URL より確認頂けます。
 https://support.riverbed.com/content/support/about_support/end_of_life_policy.html
- ② ハードウェアおよびソフトウェアのサポート終了製品一覧https://support.riverbed.com/content/support/eos_eoa.html